

意見交換会で多く出された意見

とにかくまちの姿を早く見せて欲しい！
ゾーンの工事はなぜ進まないのか？
自分達も積極的に行動しなければ！
高齢のため、建物移転や将来の生活設計に不安がある。
まちの歴史や資源の活用と、街並みの景観について話し合う必要がある。
商店街の方向性を考える必要がある。

出席された方々からは、
「他の人の意見や考えを共有する事が出来て良かった」、「今までこのような機会がなかったため今後も続けて欲しい」等、関係者の方々が抱えている様々な問題や課題を解決する上で有意義な情報交換の場となっています。

意見交換会では、ざつとばらんな雰囲気では話し合いが出来ないように対話型とし、それぞれのグループごとに意見交換を行ったなかで、『常日頃から感じていた不安や悩み』、『地域への想い』などについて、活発な意見が出されました。

意見交換会では、ざつとばらんな雰囲気では話し合いが出来ないように対話型とし、それぞれのグループごとに意見交換を行ったなかで、『常日頃から感じていた不安や悩み』、『地域への想い』などについて、活発な意見が出されました。

青葉や若葉の美しい季節となりました。
前回、お知らせしていた通り、市街地対策室では、この度の見直し計画を策定するにあたり、工事が完了したゾーンと工事中のゾーンを除いた「先行区域」の関係者全員（60名）を対象とした意見交換会を、5月の連休明けから1週間に1〜2回のペースで行いました。

住民主体のまちづくりが叫ばれる中、関係区（橋本区・古佐田区）と市（市街地対策室）との協働作業により、意見交換会を行った結果、出席者は地区内にお住まいの方は44名中で36名、地区外の方は遠方ということもあり、16名中で3名となっております。

平成17年6月

NO. 45



発行 橋本市
建設部市街地対策室
33 1111

区画整理だより

第1回意見交換会を開催しました！

主な意見（抜粋）
意見交換会は、予備日も含めて計6回に分けて行いました。ここでは、各グループごとに出された意見を掲載します。

グループ

- ・高齢のため銀行ローンが組めず、家の建替え時に不安がある。
- ・皆、事業に協力はすると思う。いまさら事業をやめられても困る。
- ・再開発住宅は希望者を先行入居させてあげた方が良い。気の毒だ。
- ・ゾーンの進捗状況は実際どこまで進んでいるのですか？
- ・御殿橋の高さはどうなりますか？
- ・国道24号を走る車の振動が大きくて不安。
- ・小宅地のため減歩されれば家が建たなくなるかもしれない。
- ・道路などの基盤整備を行うのと同時に、人をひきつけるまちの魅力も作っていかねばいけない。
- ・店が近くにないから、歩いて買い物へ行けない。不便。



グループ

- ・古い家を直したくても、区画整理事業による移転で壊すことを考えるともったいなくて直せない。早く事業を進めて欲しい。
- ・借家人も家主も、立場は違うが悩みは同じだと思う。
- ・家主と借家人の話し合いがスムーズにいく方法を考えて欲しい。
- ・借家人向けの説明会が必要。
- ・家が古く倒壊の危険性があり怖い。再開発住宅へ先行的に入居させてもらうことはできませんか？
- ・引越は苦勞するので現状のままそっとしておいて欲しい。

グループ

- ・市は事業のイメージを住民にきちんと伝える努力をする責任があると思う。
- ・市が勝手に事業を行っているようなイメージがある。
- ・今までまちづくりを真剣に考えてこなかった自分達住民にも責任はあると思う。
- ・この事業は住民にとっていたれりつくせりだということを、皆がもっと認識する必要があると思う。
- ・私達みたいな素人は、実際にまちの姿が見えてこなければ、事業を身近に感じない。
- ・とにかく早く、事業を進めて欲しい。
- ・話し合いがまとまったゾーンから工事を行う事も考えられるのでは？
- ・騒音や排気ガスなどが心配なので、古佐田橋本線の幅員を狭く出来ないですか？
- ・換地により、向い三軒両隣の関係が崩れてしまうのではないかと？
- ・地域の景観や資源を残し、住民の帰属意識や地域性を高めることが重要だと思う。
- ・まちの整備が出来たら、また、商売を始めようと思っている。



裏面に続きます

グループ

- ・協力はしなければいけないと思っているが、建替えに必要な資金ローンの問題などで先立つものがないとどうしようもない。
- ・高齢だし、事業はやってもやらなくてもどちらでも良い。
- ・一人で考えていてもだめ。みんなで意見や知恵を出し合う必要がある。
- ・ゾーンが遅れている原因は何？もう何年も仮住居で生活されている方がいることを考えて欲しい。
- ・将来の集会所の位置や面積はどのようになりますか？
- ・ゴミ集積場や井戸等、町内会で共同で使えるものがあったら良いのでは？
- ・時間が経つほど家の評価額が下がるので、早くみんなの意見をまとめて、工事に入れる段階に進む必要がある。
- ・このまち自体、住宅地になるのか商業地になるのかがわからない。
- ・建物の構造や大きさなど、まちなみの景観統一を考えていくことも必要だと思う。



グループ

- ・市長が変わっても事業が継続できるように、事業推進へ向けた地元の団結と気運が大切。
- ・欠席者対応を考えないといけない。
- ・自分達のまちなんだから、自分達がかんがってほしい。
- ・橋本の課題は、生活基盤施設の弱さ、高齢者の依存体質、後継者不足、まちの歴史認識の低さだと思う。
- ・ゾーンの工事が遅れていることに対する市の対応は？
- ・実際に工事を行う順番は、どのように計画されるのですか？
- ・仮店舗や仮倉庫が、無駄にならないような見直し計画が必要。
- ・景観上、電柱の地中化が必要ではないか？
- ・若者が、どうしたら地域に戻ってくるかを考えるべきではないか？

グループ

- ・事業期間が長く、先行きが不透明なので不安。
- ・再開発住宅の空き部屋に入居させて欲しい。
- ・高齢なので、早く事業をしてもらって落ち着きたい。
- ・協力は惜しまないので、早く事業を進めて欲しい。
- ・今後は未同意者が出て積極的に事業を進めるべきだ。
- ・合併後も事業は続けられるのですか？
- ・先行区域を進めるための財源確保ができていますか？
- ・商業地と住宅地では意見が違っているので配慮して欲しい。
- ・一人住まいなので場所にはこだわらない。ただ、建て替えローンにより生活が大変になるのは困る。
- ・築百年以上の家なので雨漏りもひどい。事業で取り壊されることを考えるともったいなくて修繕できない。

市街地対策室では、第1回意見交換会に欠席された関係者の方々に対して、今後、より積極的な取り組み（個別対応等）を行ってまいりますので、ご協力をお願いします。

第2回意見交換会を開催します！

第1回に引続いて、7月中旬に第2回目の意見交換会を開催する予定です。現在、区と市の協働作業による日程調整等を行っているため、後日、関係者のみなさんに案内させていただきますので、ご家族の方々等も含め、ご自由にご参加下さい。

できるだけ、多くの方々との意見交換をしていただけるように、第2回は第1回とは違うメンバーで行わせていただきます。

第2回意見交換会の内容（予定）

第1回で出た意見を共有します。

第1回で出された意見のまとめ（詳細）を発表します。さらに多くの情報や考えをみんなで共有しましょう。

事業のしくみを勉強しよう！

秋に行う予定である、「換地の街区調整」に向けて、事業の流れと換地のしくみについての勉強会を行います。

意見交換会

ざっくばらんなフリートーク！

街区調整の説明

秋に行う予定である、「換地の街区調整」について概略の説明を行います。

休止区域に関するお知らせです！

古佐田地区内で、市道の維持修繕工事が施行されます。

詳細については、区長さんを通じて、後日、回覧等によりお知らせします。

工事予定期間 6月25日～9月12日

工事期間中は何かとご不便・ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

質問や不明な点等があれば、
建設部市街地対策室（33・1111 内線728）まで